

— 大学院特別講義のお知らせ —

表皮水疱症に対する

骨髄間葉系幹細胞移植治療法の開発

大阪大学大学院医学系研究科 再生誘導医学寄付講座

教授 玉井 克人 先生

平成26年12月16日（火）18時より

研究棟3階大学院セミナー室

表皮水疱症は、皮膚基底膜領域の接着構造遺伝子異常により、出生直後から一生涯、日常生活の軽微な外力で全身皮膚に水疱や潰瘍を形成して熱傷様皮膚症状を生じる遺伝性皮膚難病で、有効な治療法が全く無いのが現状である。我々は、表皮水疱症に対する治療法開発を目的とした基礎研究、開発研究を進め、昨年より「骨髄間葉系幹細胞を利用した表皮水疱症治療臨床研究」を開始した。本講義では、表皮水疱症の病態について理解を深めると共に、表皮水疱症をはじめとする遺伝性皮膚難病に対する骨髄間葉系幹細胞移植治療について、その背景と現状、将来の展望について整理する。

— 玉井教授は、弘前大学のご出身で、津軽なまりの愛情あふれる語り口で、聴く人の心をとらえます。表皮水疱症との出会い・基礎研究から、革新的治療法の開発と臨床治験に至る壮大な一大絵巻きをご堪能ください —

担当：皮膚科 金澤伸雄